

「単元名」：包丁を使ってみよう

「ねらい」：包丁の安全な使い方を知り、いろいろな切り方ができるようになる。

教師のはたらきかけ	予想される子どもたちの活動	指導上の留意点
<p>包丁の安全な扱い方を知り、キュウリをいろいろな切り方で切ってみよう</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">包丁の使い方を知り、いろいろな切り方ができるようになろう</p> <p>家族の人はどのように包丁を使っているのだろう。</p> <p>包丁の持ち方を示範する。</p> <p>調理師の方の姿勢を見てみよう</p> <p>キュウリをいろいろな切り方で切ってみよう。切り方の示範をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうし切り</li> <li>・輪切り</li> <li>・乱切り</li> <li>・半月切り</li> <li>・いちょう切り</li> <li>・ななめ薄切り</li> <li>・せん切り</li> </ul> <p>ペア同士で互いに包丁の使い方や切り方を評価しあい、実際に切ってみよう。</p> <p>できあがり进行评估しよう</p> <p>ドレッシングを作り試食しよう</p> <p>後片づけをする。</p>	<p>・熱湯消毒や身支度を行う。</p> <p>・包丁、まな板、各自1本ずつのキュウリを準備する。</p> <p>・柄をしっかりと持つと良いとっていた。</p> <p>・左手は猫手だよと教えてもらった。</p> <p>・調理台と体の間はおぶし分くらい開けて左足を少し前に出して立つといいのだな。</p> <p>・包丁は柄をしっかりと握って、左手は指先がはの先にでないように注意するとよいのだな。</p> <p>・同じような姿勢で切ってみえる。</p> <p>・1本のキュウリを使って、いろいろな切り方ができるのだな。</p> <div data-bbox="555 824 1114 1057" style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center;"> </div> <p>・ペア同士でアドバイスしながら、キュウリを切る。</p> <p>・ひょうし切りの切り方を忘れてしまった。コンピュータで確かめてみよう。</p> <p>・できあがり进行评估し合う。</p> <p>・ドレッシングを作り試食する。</p> <p>・役割分担をして後片づけをする。</p>	<p>・家庭科係は、身支度や熱湯消毒を呼びかけ、各班が準備できているか確認する。</p> <p>・教師がわかやすく説明しながら示範する</p> <p>・確かめとして教育用コンテンツを活用して確かめる。 (プロの実演を見ることによってより技能や知識理解を深める)</p> <p>・机間指導を行い、一人一人のつまずきを援助する。</p> <p>・示範だけでは十分に理解できなかった子どもに対して、教育用コンテンツ(プロの実演動画)を活用して、確かめて、コツを理解し実践を行う。</p> <p>・仲間の評価、自己評価を行う。</p> <p>・テーブル班長が後片づけの見届けをし、報告する</p>

作成の意図

教師は限られた時間の中で示範を行うため、すべての子どもたちに対して十分な指導を行えないことがある。その課題に目を向け、教師にとっても子どもたちにとっても有効な指導の在り方を考え作成した。

活用の仕方

教師の示範を見ても、なかなか一度で理解できない子どもが多い。また、頭で理解しながらも実際に行ってみるとつまずく子どもたちも多い。そこで、自分のつまずきを自分で解決できるように、自分に必要な作業の動画の部分だけ取り出して確かめられるようにした。これによって、子どもたちは主体的に学ぼうとする。

実践から

子どもたちの学習環境の一つとして、コンテンツを活用した。それによって、子どもたちは主体的に自分に必要な情報を選択し活用していくようになった。また、ここで、「包丁の使い方がわかった。」「いろいろな切り方ができた。」という喜びをもち、家庭実践の意欲へとつながっていった。コンテンツの利用によって、一人一人が本時のねらいを達成でき、確かな知識や技能が身に付いた。